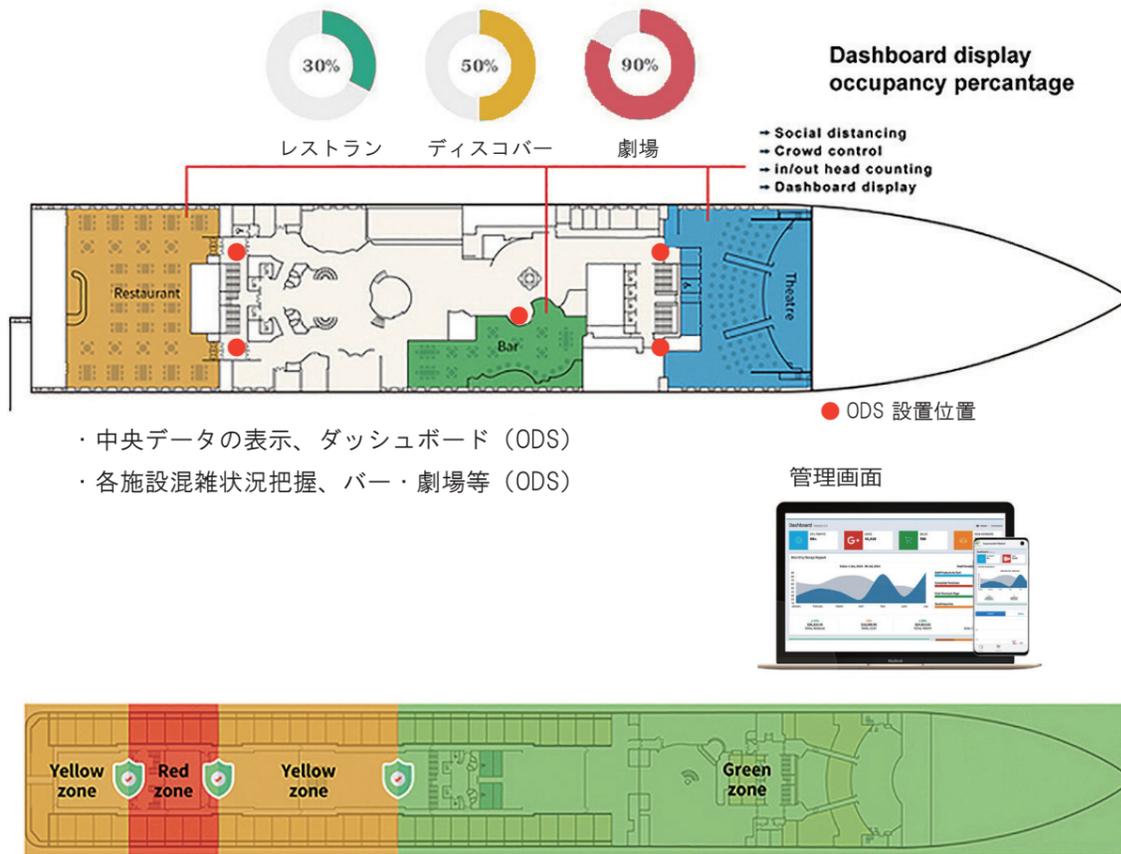


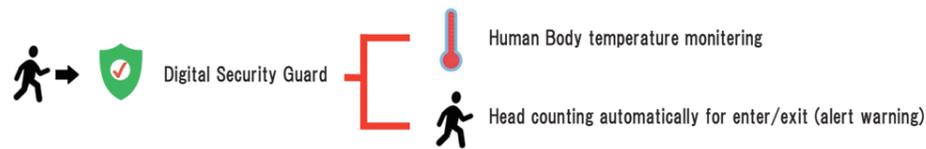
Occupancy rate Detecting System

● 提案事例：客船の公室エリア、中央データ収集と管理システム



- ・中央データの表示、ダッシュボード (ODS)
- ・各施設混雑状況把握、バー・劇場等 (ODS)

- ・デジタルセキュリティガード
- ・重点対策区域と管理区域



IMS VONE- 日本総代理店
株式会社 アイ・エム・エス

<http://vonetec.com/>

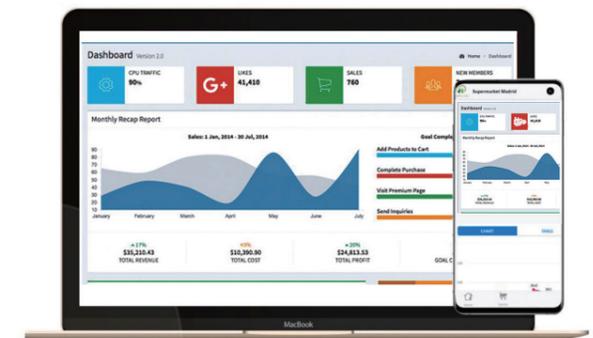
本社：〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-6 りそな九段ビル 5 階
TEL : 03-6869-6278 FAX : 03-6240-2668
東京営業所：〒135-0004 東京都江東区森下 2-19-8 亀吉ビル 3 階
TEL : 03-6240-2278 FAX : 03-6240-2668
E-mail : ims-info@ims-biz.com URL : <http://ims-biz.com/>

ODS 客流検知システム

Occupancy rate Detecting System

施設内の混雑（稼働）状況の「測定・検知」

脱三密は、ODS「客流検知」システムから・・・



株式会社 アイ・エム・エス

IMS Co., Ltd.

ODS「客流検知」システム・・・混雑状況を定量化して、脱三密

● ODS システム の特長

- ・ ODS「客流検知」は、TSS「検温追跡」のシリーズ商品である。
公共施設内の混雑（稼働）状況を1枚のディスプレイで定量表示し、利用者に各施設内の混雑状況を注意喚起する。混雑の緩和と三密の解消を図る新たな社会ニーズに対応するアプリケーションである。
- ・ 特定の人／来客の安全管理用に、TSS「検温追跡」安全管理システムと不特定の人／来客にも注意喚起用に、ODS「客流検知」注意喚起システムを組み合わせ使用することで、脱三密が定量化してより効果的に実現できる。
- ・ 各種店舗、レストラン、バー等公共施設の客流状況、混雑状況をリアルタイムに検知・表示することで、施設内の「混雑」を「解消」に繋がっていく。
- ・ 脱三密は、ODS「客流検知」システムから・・・

施設の混雑状況・稼働率の表示と報告（分析と管理）の必要性

▶ With コロナ時代の新しい常識とルール、安全対策と経済活動の両立へ

1. ソーシャルディスタンスのキープ（各個人の安全対策）
2. 群集活動の監視と回避（グループの安全対策）
3. 混雑状況・稼働率の定量化、三密の分析、管理と警告
4. 一枚のダッシュボードで複数の公共施設の混雑状況を表示
5. グリーンゾーン、イエローゾーン、レッドゾーンの設置
6. 施設稼働率の報告と分析、消費誘導、市場調査等幅広い活用
7. 多言語対応
8. 広告媒体としての使用も
9. 災害時や防犯時にも利用
10. 各分野における新しい常識とルールの順守、官公庁、公民館、学校、交通機関、観光ホテル、レストラン街、現場、ショッピングセンター、海上（旅客船内、港）、その他

▶ 混雑情報の表示、1枚のダッシュボード、脱三密は、定量化から

混雑情報の表示、例えば：バーの総席数と空席数の表示

グリーンゾーン = 稼働率が60%未満（安全ゾーン）

イエローゾーン = 占有率が60～80%の場合（要注意）

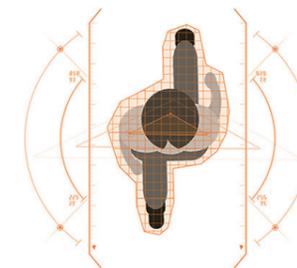
レッドゾーン = 占有率が80%以上の場合（注意喚起）

複数箇所の施設の稼働（混雑）状況、1枚のボードで表示
複数場所でのシステム展開、不審者追跡+混雑度検知

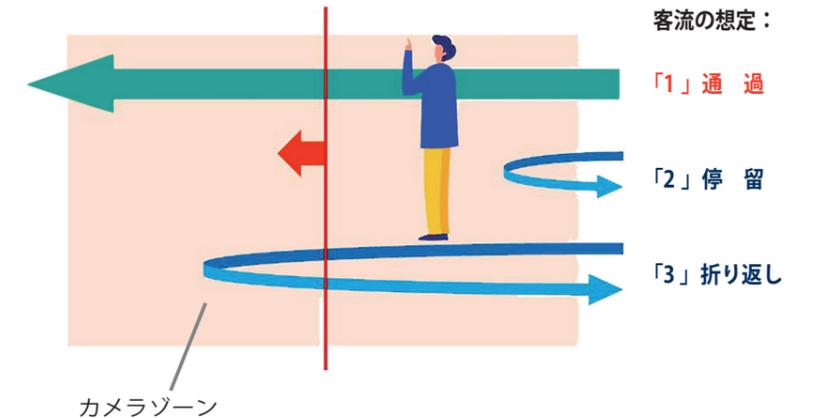


● 客流データ収集 / 3D カメラ (AI 顔認証非対応)

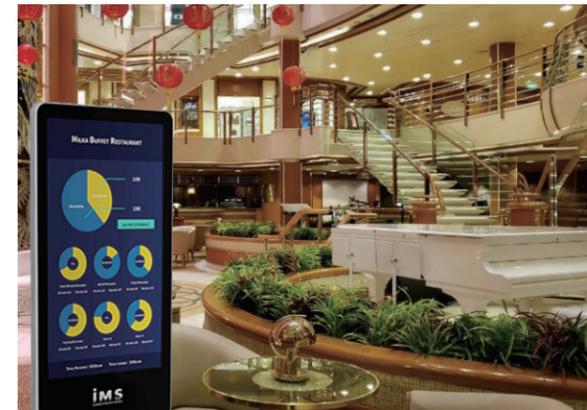
▼ 人の動きと移動方向（客流）のみを検出する 3D カメラ



3Dカメラゾーンでは、「1」は、通過・利用人数としてカウントされる
「2」と「3」は、利用人数としてカウントされない



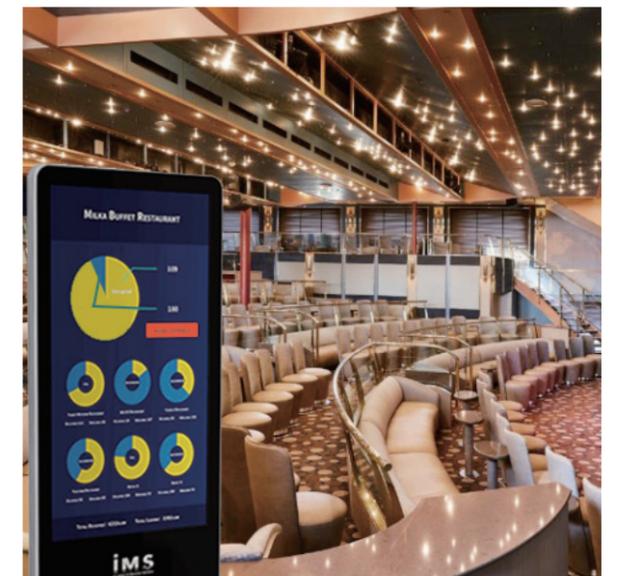
● 提案事例：観光ホテル、多目的複合商業施設の公共エリア、客船の公室エリア



受付ロビーで、お客様は混雑の少ない場所へ（どこに）行きたいかを表示画面から選択できます。



レストランやバーの入り口で、お客様はより多くの空席があるところを選択することができます。



劇場やショッピングの入り口で、お客様は少人数で楽しめる場所を選ぶことができます。